

令和6年4月22日

藤沢市長

鈴木恒夫様

議会議長

桜井直人

議会報告会「カフェトークふじさわ」で出された意見等の提出について

## 1. 経緯

本市議会は、平成25年2月に制定された藤沢市議会基本条例に基づき実施してきた議会報告会の形を変え、平成28年から「カフェトークふじさわ」を開催してきました。

令和5年度はコロナ禍以来、4年ぶりに制限のない、公募による通常形式で「カフェトークふじさわ」を開催しました。

午前、午後合計で36人の市民、そしてカフェトークふじさわの講師及びファシリテーションを依頼している関東学院大学牧瀬教授のゼミナール生にもトークに参加していただき、総計で100名近い規模となりました（令和5年11月19日開催）。

今回は、投票率UP大作戦という議題で、午前の部は10歳以上18歳未満の中高生を中心に、午後の部は18歳以上の市民で活発な話し合いが行われました。全体の進行について、第1ステージは、低投票率の現状とその要因について意見交換し、第2ステージは、投票率向上のメリット・デメリットについて検討し、第3ステージは、具体的な解決に向けての提案を出し合い、最後に知見を共有しました。

また、牧瀬ゼミナール生からは、カフェトークふじさわで参加者から出された意見を基にゼミ内で議論を進め、令和6年2月6日に本市議会に対して政策提言の発表がありました。

この度、これらの結果を集約しましたので、趣旨をお汲み取りいただき、今後の藤沢市の参考としていただきたく、提出します。

## 2. カフェトークふじさわで出された意見・課題解決の方法

(午前の部)

### ●主な意見

#### ○低投票の原因

- ・政治は難しいイメージ、それが興味関心の低さに繋がる。
- ・忙しい、面倒。
- ・重要性がわからない。

#### ○投票率向上するメリット・デメリット

メリット

- ・民意が反映される。
- ・投票することで、政治に興味が生まれる。
- ・若者の意見が反映される。

デメリット

- ・少数派の意見が通りにくい。
- ・適当な投票が増える。
- ・1票の価値が下がる。

○投票率が向上するための具体策

- ・投票することによる特典をつける。
- ・コンビニエンスストアやショッピングセンターで投票出来るようにする。
- ・SNS、回覧版で周知する。
- ・不正防止にAIを活用し、オンライン投票化する。
- ・義務教育で選挙や政治の教育に取り組む、模擬投票を行う。
- ・投票所までのシャトルバスを出す。

(午後の部)

●主な意見

○低投票の原因

- ・興味がない。
- ・忙しく選挙に行く時間がない。
- ・選挙日を知らなかった。

○投票率向上するメリット・デメリット

メリット

- ・若者の意見が反映されやすい。
- ・意見が多様になる。
- ・議員の質の向上

デメリット

- ・投票所の混雑
- ・議会がまとまりづらくなる。

○投票率が向上するための具体策

- ・投票方法や投票場所の増設や活用の推進
- ・主権者教育の推進

### 3. 牧瀬ゼミナール生による政策提言の内容

別紙のとおり、実際に発表の際に使用されたスライドを参考として添付します。

以 上